

この夏 君は 心に残る本に出会う！
本を読んで 世界を広げよう！

本日10日より 夏の特別貸出 始めます！

◆一人10冊まで！ ◆返却日：9月1日

夏だ！読書だ！ナツドクミッションⅠ

読書感想文に挑戦しよう！

本と出会い、心に残った感動を読書感想文に表現してみよう。本を読んで、何を感じ、何を考え、心がどう動いたか？ それを自分の言葉で生き生きと表現すれば、最高の読書感想文になります。ぜひ、チャレンジしてください。＜2000字原稿用紙・「HOW TO 読書感想文」は配布します。＞

1、対象図書：自由図書・課題図書（下記の図書）教科書、副読本、雑誌、パンフレット類、日本語以外の図書は対象外

2、字数：2000字以内（題名・氏名は字数に入れない） 3、校内提出：9月1日（月）

★★第71回青少年読書感想文全国コンクール

課題図書

＜高等学校の部＞★★



『銀河の図書室』 名取佐和子/著 実業之日本社



県立野亜高校の図書室で活動する「イーハトー部」は、宮沢賢治を研究する弱小同好会だ。部長だった風見先輩は、なぜ突然学校から消えてしまったのか。高校生たちは、賢治が残した言葉や詩、そして未完の傑作『銀河鉄道の夜』をひもときながら、先輩の謎を追っていき。物語を愛するすべての人へ贈る、青春小説の金字塔！

『「コーダ」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて』 五十嵐 大/著 紀伊國屋書店



コーダ（CODA）＝聴こえない／聴こえにくい親のもとで育つ、聴こえる子ども。もし、親の耳が聴こえたらーなんて、想像もつかなかった。ときに手話を母語とし、ときにヤングケアラーと見なされて、コーダは、ろう者とも聴者とも違う複雑なアイデンティティを抱えて揺れ動く。

『夜の日記』 ザー・ヒナンガニ/著 作品社



イギリスからの独立とともに、ふたつに分かれてしまった祖国。ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい、傷つけあっていく。少女とその家族は安全を求めて、長い旅に出た。自分の思いをことばにできない少女は亡き母にあてて、揺れるを日記につづる。

自由図書 2025年第58回 ★夏

休みに読んでほしい本★高等学校の部 全国学校図書館協議会選定

『願わくば海の底で』 額賀 濤/著



東京創元社
東北地方の沿岸部にある高校に通っていた菅原晋也は、高校を卒業したが、入学する予定だった美大に通うことなく姿を消した。高校生活でのちょっとした事件に関連して、3年間の彼の日記人物たちが、章ごとに振り返ってゆく。彼の飄々とした振る舞いの奥には、秘めた苦悩があることがわかる。最後には、彼の行方不明の真相が語られ題名の意味を実感する。

『6days遭難者たち』 安田夏菜/著 講談社



夏休みの8月、同じ県立高校に通う3人の女子高校生が、別々の理由から一緒に山に登ることになった。元登山部の美玖が日帰り登山を計画、あとの2人、亜里沙と由真は初心者である。「ゆる登山」のつもりだったが、下山の計画を変更したことで道を見失って遭難してしまう。死を意識した3人は、それぞれ異なる立場で自分自身と向き合うことになった。救助されるまでの6日間の緊張感を共に体験する。

『アドニスの声が聞こえる』 フィル・アール/著 小学館



第二次世界大戦下のロンドン、少年ジョーゼフは祖母の知り合いのミセスFのもとに預けられ、彼女の経営する動物園を手伝うことになった。そこで出会ったゴリラのアドニスに対し始めは恐怖を感じていたが世話を続ける。空襲が激化する中、転校先でいじめられるなど困難な状況に追い込まれていくジョーゼフでは会ったが・・・。

『わたしのeyePhone』

三宮麻由子/著 早川書房



4歳で目の手術を受けた後光を失いシーンレスとなったが、現在は通信社で翻訳の仕事をつとめながらエッセイストとしても活躍する著者の頼れる相棒はスマートフォン。画面読み上げ機能のボイスオーバーなどさまざまな機能を駆使することで生活の自由度、自立度が高まり夢が叶えられていく様子をユーモアを交えて綴っている。現代の必需品であるスマホとIT技術の可能性を感じさせてくれるエッセイ。

『僕は猛禽類のお医者さん』

齊藤慶輔/著 KADOKAWA



北海道釧路市を拠点に活動する獣医者である著者が、オオワシやシマフクロウなど、傷ついた野生の鳥たちの保護と治療に尽力する日々を綴る。命と真摯に向き合う現場の姿を通して、交通事故や鉛中毒など、人間の暮らしが鳥たちに及ぼす深刻な影響が伝わってくる。動物・人間・環境の健康を一体として捉える「ワンヘルス」の考え方を軸に共に、自然とどのように共に生きるか、命の繋がりについて考えさせられる。

『戦場の人事係』 七尾和晃/著 草思社



これは沖縄南部の戦線で、隊の下士官18人のうち、唯一生還し、人事記録や戦時中の記録を本土に持ち帰ることに成功した男の話である。戦争体験、悲惨さを教訓めいて語るのではない。ただ戦後、男は戦友の家族らのもとへ、「最期の瞬間」を伝え届けることを自らの使命とした。著者はその生き様をただ見るだけでなく、沖縄で戦死した米軍士官の視点も交えて、丁寧な語り口で戦争の愚かさを静かに語りかけてくる。



夏だ！読書だ！ナツドクミッションⅡ 君の「推し本」を紹介しよう！ ～ ビブリオバトルを楽しもう～

夏休み中にやること

- ① 面白そうな本、興味のある本、ためになりそうな本 2～3 冊を選ぶ。(漫画・絵本・雑誌・図鑑 教科書・パンフレットは対象外)
- ② 心が動いた文や言葉、印象的なセリフにふせんを貼りながら読書する。読破する！
- ③ いちばん紹介したいと思った「推し本」を決める！
- ④ おすすめポイント 3 点を書きだす。発表計画を立てる。
- ⑤ 発表練習する。(3 分間程度)そして 1 回戦に参加する！

◆詳しくは、図書館に来てください◆
「ビブリオバトルワークシート」
「発表の仕方」を配布します。
ビブリオバトルにおすすめの本を紹介します。

みんなが読みたくなる本を紹介してくれる人
バトルー(発表者)募集！

君の「推し本」をもってきて
熱く語ってください！
当日参加 OK です！

ビブリオバトルとは？
発表者が観客に向けて
5 分間でおすすめの本
を紹介し、投票で読みた
い本を選ぶゲームです。

ぜひ観覧と投票に参加してください！
観覧者募集！

<1 回戦>
3年生大会: 9/10(水)
15:40～16:20

2年生大会: 9/12(金)
15:40～16:20

1年生大会: 9/16(火)
15:40～16:20

<2 回戦>
1回戦勝者大会: 9/19(金)
15:40～16:20

10/7<決勝戦>
(火) 15:40～16:30

双星ビブリオバトル決勝大会
会場: 図書館

主催: 尼崎双星高等学校 図書委員会

新着図書案内

『アーセナルにおいでよ』 水鈴社



あさのあつこ/著

幼馴染で初恋の相手・甲斐から突然呼び出された高校3年生の千香は、その文章力と思索力を見込まれ、スタートアップのメンバーとしてスカウトされた。会社の名前は「アーセナル」。「武器庫」を意味するという。それぞれの痛みを抱えたメンバーたちは、起業という一つの目標に向かい、生きる「武器」を手に入れていく。少年少女を見つめ続けた著者が令和を生きる若者たちに贈る、新たな傑作青春小説！

『その本はまだリユールされていない』



坂本 葵/著 平凡社

司法書士になる夢をあきらめたまふみは非正規職員の図書館司書として母校の小学校に赴任するため、実家近くのアパート・リーブル荘に引っ越してきた。リーブル荘には、世界的な製本家として活躍する綺堂瀧子親方とその孫で天才製本家の由良子が暮らしていた。元々本が好きだったまふみは手製本の美しさに魅せられていく。

『雫』 寺地はるな/著 NHK出版



新たに生まれ変わり、継がれるジュエリー。人から人へとつながっていく想い。変化しながら続いていく先に広がる、新たな始まりの物語。中学の卒業制作で出会った4人の同級生たち。恋人とも親友とも異なる距離と30年、ビルの取り壊しに伴ってひとつのジュエリーリフォーム会社が営業を終え、4人は再会した。重ねてきた月日の過程で、不器用ながらもひたむきに生きる彼らに訪れる数々の選択と、人生のままならなさ、そして転機一。

『オレがマリオ』



俵 万智/著

河出書房新社

豊かな自然、人々との交流…。石垣島での光あふれる日々をうたう第五歌集。大きな話題を呼んだ珠玉の三四一首。

「オレが今 マリオなんだよ」
島に来て 子はゲーム機に触れなくなりぬ

『<弱いロボット>から考える: 人・社会・生きること』 岡田美智男/著



生きることや他者との関係性、社会の在り方と共に考えます。

『人間椅子』



「人間椅子」D坂の殺人事件」
「白昼夢」押絵と旅するお男」
とめどもない妄想が湧き上がってくるのです。幻想・怪奇小説の名手、江戸川乱歩の最高傑作集。

『杜子春』



「杜子春」トロッコ「藪の中」
「戯作三昧」開化の殺人」
すべて失くしていちばん大切なものを見つけた。短編小説の名手、芥川龍之介の最高傑作集。

『手術はすごい』 石沢 武彰/著



医師の思考力と技能、器具の進化、患者の生命力。手術の世界は奥が深い。消化器外科医が考える「最高のオペ」とは。現役の外科医が手術の価値や考え方、方法などを、戦略、戦術、武器、技術の点から解説している。

『もしもハチがいなくなったら?』



トマトやイチゴ、リンゴもかぼちゃもハチがいなければつukれない?食料生産や、生物多様性の維持に対するハチの貢献に目を向け、その危機的な状況や保全の取り組みを紹介。

『小さい潜水艦に恋をした』



でかすぎるクジラの話
戦争童話集～忘れてはイケナイ物語～
野坂昭如/原作 黒田征太郎/画
80年目の夏。すべて「昭和二十年、八月十五日…」という書き出しから始まる12編の童話は、戦争によって常に弱いものの命が無残にも奪われ、もてあそばれていく様を伝えています。戦争を知らない子どもたちに伝えたい戦争童話集。